

# きらり

12月4日～10日は人権週間でした。熊本県でもオンライン(オンデマンド)で熊本県人権子ども集会が実施されています。きらり第2号では、2学期の各学部での人権学習の様子をご紹介します。

## ❀ 小学部の取組 ❀

### 「みんなできもちをあわせよう」

小学部では、1学期から「自分の『好き』を伝えたり友達の考えを聞いたりすること」、「友達と協力すること」に継続して取り組みました。まず、カードで友達と好きな動物を伝え合った後に、同じ動物の友達とグループを作り、協力しながら「ヘリウムリングゲーム」を行いました。

はじめは、自分のペースでフラフープを下ろしていた子供たちも、協力すると良いことを再確認すると、友達のペースに合わせてたり、友達が手を離すとそれに気付いてゆっくり下ろしたりと、友達と気持ちを合わせようとする姿が見られました。また、友達のことをしっかり見て、「頑張れー!」と応援する姿も広がりました。



## ❀ 中学部の取組 ❀

### 「熊本県人権子ども集会」

人権週間に合わせて中学部では、「熊本県人権子ども集会」を視聴し、自分たちの近くで起きている人権問題や差別について考えました。

聾学校の生徒が補聴器を付けていただけで差別されてしまった事例の動画を視聴し、「差別をなくすために、或いは差別をしないために自分たちで何ができるだろうか?」ということを考えました。生徒たちからは「友達と仲良くする」「優しく声を掛ける」など日頃から実践できそうな意見が出てきました。授業の最後に、みんなで簡単なゲームに取り組み、実際に「仲良くする」「分からないことを教え合う」ことを体験的に学びました。今回の授業だけでなく、日々の学校生活でも実践していきましょう!



## ❀ 高等部の取組 ❀

### 「人権について考えよう」

高等部では、人権週間に合わせて学部で人権学習を行いました。相手の人権を大切にする言動には、SNS 上での言動も含まれることを確認し、日頃の自分の言動について考えました。

また、全国中学生人権作文コンテスト受賞作品「かけがえのないもの」の朗読動画の視聴を通して、心無い一言で傷ついた人の気持ちについて知り、そうしないために自分はどうしたらいいのかについて考えました。

また、3年生は、2学期に水俣病学習の一環として語り部の杉本 肇さんの講話を聞きました。水俣病が家族の健康に及ぼした被害や、差別の実情について語り掛けるように話をされ、話を聞きながら涙する生徒の姿も見られました。

水俣病をめぐる差別の実態について考える貴重な機会となりました。



## 「熊本県人権子ども集会」について

10月24日から1月31日の期間に、オンデマンドで「熊本県人権子ども集会」が実施されています。集会のテーマは「人～知る、知ってもらう、考える、行動する～」です。

子ども実行委員による集会メッセージでは、「『知る、知ってもらう、考える、行動する』ことを通じて、仲間を作っていきます。そして、部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくし、人権を大切にする社会をつくっていきます。」と述べられました。また、体験・活動報告では、3校の報告が発表されました。熊本聾学校の発表では、自転車走行時、補聴器がイヤホンと間違われたことから、相手に正しく障がいを理解してもらうために行った働きかけと聴覚障がいを正しく理解しようとする相手とのやり取りについて手話を交えた劇の発表がありました。本校でも、各学部で集会の視聴をしました。

### くまもとけんじんけん 熊本県人権センターについて

☆ こま困ったときは そうだん相談しましょう!!

つらいことや悲しいこと、いやなことがあったとき、

じぶん自分の人権が じんけん守られていないと まも感じたときは かんすぐに そうだん相談をしてください。 いえ家の人、 ひと学校の先生、 がっこう友達等の せんせい周りの人が ともだち話を聞いてくれます。 まわ誰にも だれ知られたくないと

ひときは、「 くまもとけんじんけん熊本県人権相談センター」に き電話をしてもいい でんわです。 しんみ親身に そうだん相談にのって かいけつくれ、 ほうほう解決する方法を いっしょ一緒に

かんが考えてくれます。

### じんけん そうだんまどぐち 人権センター相談窓口について

そうだんうけつけじかん  
<相談受付時間>

げつよう月曜から きんよう金曜の ごぜん午前9時から しょうご正午まで、  
およ及び ごご午後1時から ごご午後4時まで

(しゅくじつ祝日、ねんまつねんし年末年始を除く)

そうだんせんようでんわ  
<相談専用電話>

096-384-5822

